

## 日誌 (昭和43年8月)

## 【国内】

6日 ○本行、公定歩合の1厘引下げを決定(7日から実施)

7日 ○全国銀行協会、貸出金利の自主規制最高限度の1厘引下げを決定(9日から実施)

## 【海外】

1日 ○南アフリカ政府、輸入制限緩和措置を発表

○英国、IMF借款(1965年5月引出し分、14億ドル)のうち85百万ドルを返済

2日 ○フィリピン、IMFから27.5百万ドル(第2ゴールド・トランシュ分)の引出しを実行

26日 ○西ドイツ、景気委員会を開催、当面の景気政策について検討

9日 ○ビルマ連邦人民銀行発足

10日 ○台湾、公定歩合を引上げ(商手再割率、月利0.90→0.99%)

27日 ○シラー西ドイツ連邦経済相訪英、ジェンキンス英蔵相と会見

13日 ○米国、対仏輸入品に対し相殺関税を課す旨を発表(9月14日から実施)

○南アフリカ準備銀行、公定歩合を引下げ(6.0→5.5%)

○フランス政府、1969年度予算案中歳出案を決定

○第2回日韓定期閣僚会議、ソウルで開催(29日まで)

15日 ○米国連邦準備制度、ミネアポリス連銀の公定歩合引下げ(5.5→5.25%、16日から実施)を承認(ニューヨーク連銀は、2週間後の29日、12連銀中最後に同幅の追随引下げを発表、30日から実施)

28日 ○デンマーク、公定歩合を引下げ(6.5→6.0%)

29日 ○西ドイツ・ブンデスバンク、対米ドル先物スワップ・レートを引下げ(4.0→3.0%)

20日 ○エカフェ、貿易拡大に関する政府専門家会議を開催(20~28日)

30日 ○カナダ銀行、公定歩合の再々引下げを発表(6.5→6.0%、9月3日から実施)

○ソ連・東欧5か国軍、チェコに抜打ち侵入

○西ドイツ・ブンデスバンク、対米ドル先物スワップ・レートを引下げ(3.0→2.5%)

23日 ○英国、国民経済社会研究所、悲観的な国際収支見通しを発表

○イタリア、前月末決定の景気振興策中、主要部分を実施